

MACF礼拝説教要旨

2021年11月21日

ルカによる福音書4章14節～21節」

「み言葉の実現・自由と解放」

4:14 イエスは“霊”の力に満ちてガリラヤに帰られた。その評判が周りの地方一帯に広まった。

4:15 イエスは諸会堂で教え、皆から尊敬を受けられた。

4:16 イエスはお育ちになったナザレに来て、いつものとおり安息日に会堂に入り、聖書を朗読しようとしてお立ちになった。

4:17 預言者イザヤの巻物が渡され、お開きになると、次のように書いてある個所が目にとまった。

4:18 「主の霊がわたしの上におられる。貧しい人に福音を告げ知らせるために、主がわたしに油を注がれたからである。

主がわたしを遣わされたのは、捕らわれている人に解放を、目の見えない人に視力の回復を告げ、

4:19 主の恵みの年を告げるためである。」

4:20 イエスは巻物を巻き、係の者に返して席に座られた。会堂にいるすべての人の目がイエスに注がれていた。

4:21 そこでイエスは、「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。

イエス様はいつも通り、安息日に会堂に入り、そこで手渡された巻物を読まれました。

そこにはイザヤの言葉が記録されていました。

イザヤ書61章の部分です。

イザヤ書61章

61:1 主はわたしに油を注ぎ主なる神の霊がわたしをとらえた。わたしを遣わして貧しい人に良い知らせを伝えさせるために。打ち砕かれた心を包み、捕らわれ人には自由を、つながれている人には解放を告知させるために。

61:2 主が恵みをお与えになる年

わたしたちの神が報復される日を告知して嘆いている人々を慰め

61:3 シオンのゆえに嘆いている人々に灰に代えて冠をかぶらせ嘆きに代えて喜びの香油を、暗い心に代えて賛美の衣をまとわせるために。彼らは主が輝きを現すために植えられた正義の樅の木と呼ばれる。

おそらくこの箇所はその会堂にいた人たちは前にも聞いたことがあったでしょうし暗唱していたかもしれません。

内容は神が救い主をお遣わしになり

そのお方は霊に満ちてその役割を執行なさいます。

その役割とは

- 1) 貧しい人に福音を告げ知らせる
- 2) 捕らわれている人に解放を
- 3) 目の見えない人に視力の回復を告げ
- 4) 圧迫されている人を自由にし
- 5) 主の恵みの年を告げるためである。

約束の救い主イエス様がこられたのは

1) 貧しい人に福音を告げ知らせる
福音とは「良い知らせ」という意味があります。貧しい人たちに対する良い知らせなど、当時の社会ではまったく存在しませんでした。

貧しい人たちは、死ぬまで貧しい状況に甘んじることが多かったのです。

階級社会がそこにはありました。

しかし、救い主は「良い知らせ」の受取人に「貧しい人たち」を選ばれました。

神の守り、神の助け、心に希望と勇気、神が味方だという励ましなど

貧しい人を経済的に富める人にできるわけではないのですが、貧しくても心を

強く、明るく、喜びと感謝ができるような状況へと導く救い主が到来したのです。

2) 捕われている人に解放

不自由な階級制度のなかに閉じ込められ、身動きが取れなくなっている人たちの心の壁を打ちこわし、自分は自分として生きていて良いのだという解放と自由をもたらすために救い主は来られました。

また、病気に捕らえられ絶望的になっている人に対して癒しと解放をもたらすためにきたのです。

3) 目の見えない人に視力の回復を告げる

実際にイエス様は目の不自由な人たちを癒した記事が福音書には書かれています。

まさに奇跡を起こしました。

4) 圧迫されている人を自由に

社会の中で生きずらさを感じている人たちへの福音を救い主は届けるために来られました。

要するにイエス様は「解放と自由」をもたらすために来られたということはこのイザヤ書から宣言なさったのです。

イエス様はこれらの箇所について「聖書を読まれた」だけでした。

これはいわゆる牧師の説教と本質的に違います。

というのもイエス様は「4:21 そこでイエスは、

「この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳にしたとき、実現した」と話し始められた。」

と書かれているからです。

ここに書かれているイザヤの予告、預言はそのまま「イエス・キリストが来られたこと」によって「実現した」というのです。

聖書の言葉がそのまま「イエス様の存在と言葉と行いによって実現する」

イエス様が語り、触り、祈り、存在することで

「貧しい人への福音が確実に届けられ」

「捕われている人に解放がもたらされ」

「目の見えない人が見えるようになり」

「圧迫されている人が自由を味わえるようになる」

のです。

イエス様に触れること、イエス様に語ってもらうことで解放と自由とが私たちの生活の中にもたらされるのです。

さて、現代社会に生きている私たちは知らず知らずのうちに

1) 貧しさを経験していないでしょうか。

自然と触れ合うことによる豊かな生命との触れあいについての貧しさ自分のことしか考えられない視野の狭さという貧しさあるいは具体的な金銭的な貧しさによる生活苦の中にいませんか。

主イエスは救い主として、その状況にいるあなたを解放することができます。

いわゆる経済的に富める人になれるかどうかは、わかりませんが心において貧しさから解放されることになるでしょう。

2) 捕われていないでしょうか

狭い考え、独善的な意識の中に捕われていないでしょうか。

あるいは律法主義、戒律主義の中に捕われていないでしょうか。

もしかすると「牧師依存症」とか「教会堂依存症」になってしまっていないでしょうか。

イエス様はご自分との関わりの深さの中でそれらから解放し私たちを自由な意欲の中に置いてくださいます。

3) 目が見えていない状況にはいませんか

私たちは見ているようで実は見落としていることがたくさんあります。

意識しなければ私たちは本当にすばらしいものに

気付けないことが
あるのです。

私は東久留米市の小さな川でよく「カワセミ」を
カメラに収めています。カワセミは雀くらいの大き
さで嘴だけが長く、胸のところがオレンジ色、
背中綺麗な青ですが、小さいので周辺に雑木が
あると保護色になって本当に見つけにくくなりま
す。

でも、一旦、見つけることに慣れてくると、案外
簡単に見えてきます。

本当に大事なものは見えないのだといったのは狐
くんですが、見えるものでも注意して見つけない
と見落としてしまうことがあるのです。

その注意を払えない、目がぼやけてしまっ
て見えなくなっていることもよくあります。カメラのレ
ンズが曇っていると、写真は全く使い物になりま
せん。

私たちの目が曇っていないでしょうか。

4) 圧迫されていませんか

特に人間関係の中で無理をしないと生きられない
という状況の方がおられるかもしれません。他者
からの圧力を常に感じ、プレッシャーや
ストレスを感じ、自分の責任と自分の無能力の間
で苦しんでいる方おられませんか。

イエス様は、そういうあなたの心に向かって「愛
を注ぎ、心を解放させ状況についての見方を変え
させていただきます。

そして、ここに挙げられている「貧しさ、捕わ
れ、盲目、圧迫」というのは私たちの人生におい
ては常に私たちの近くにある問題です。

こういう状況を感じることなく生きていくことは
難しいのです。

だからこそ、救い主に近くにいてもらうことで、
これらを乗り越えながら前に進むことがより確実
に可能になってくるのです。

イエス様がいてくださること、イエス様が促し、

気づかせてくださること、私たちは前とは違う生
き方を始めることができます。

イエス様はあなたと共におられ、救いの出来事を
実行し、あなたの心に明るく生きる力と気づきを
与えてくださいます。

MACF礼拝映像はこちらです。

<https://youtu.be/1EddeDJze04>